



「共におられる神」

創世記三九…21～四〇…15

牧師 安藤 脩

兄たちに空井戸に投げ込まれ、救い出されたと思いきや、エジプト人に奴隷として売られたヨセフ。可愛がられて育った17歳の少年にとって突然の災難でした。愛する者たちから裏切られ、奴隷としての生活は、人生に失望落胆、自暴自棄になってもおかしくない状態です。

しかしヨセフは、「わたしは貧に処する道を知っており、富におる道も知っている。わたしは飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に処する秘訣を心得ている。」(ピリピ四…12 口語訳)とのみ言葉を知っているかのように、この試練に耐えました。まさにその秘訣は、今日の説教題「共におられる神」であります。

39章に何回も「主がヨセフと共におられたので」と記されています。(2、3、5、21、23) 主は全てを造られ、造ら

2015年冬号

日本キリスト教団
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区

岡村 4-25-39

TEL.045(751)3917

牧師

安藤 脩

れたものを愛しておられるお方です。その主は遍在のお方です。だから確かに、主はいつも、私たちとも共におられ、私たちが幸運な者にしようとしておられるのです。ただ、私たちが主と共にいるかどうかが問われています。

ヨセフは神が愛であること、真実なお方であることを、境遇が変わっても疑うことはありませんでした。

ポテパルの奴隷となった少年が、神の守りの中で、常に順風満帆だったわけではありません。先輩奴隷の妬みや嫌がらせもあつたでしょう。そして最大の試練は、ポテパルの妻からの誘惑でした。ポテパルの家でのヨセフの生活も10年を過ぎ、彼は既に27、8歳の顔も美しく、体つきも優れた(…6)若者になっていました。ヨセフは主人の妻からの誘惑を「あなたは御主人の妻ですから。わたしは、どうしてそのような大きな悪を働いて、神に罪を犯すことができましょう。」(…9)と退けました。ヨセフは主人の信頼を

裏切り、悪を行なうことはできないだけでなく、それは神への罪と認識していました。

ポテパルの妻の偽りの訴えで監獄に入れられても、ヨセフの信仰は変わりませんでした。それゆえ、ここでも主は共に居て、恵みを施されました。この苦難の中に、神様は人の思いもつかない転機を計画されていたのです。

この獄屋に王の宮廷の役人・給仕役の長と料理役の長が入ってきたこと。この二人が象徴的な夢を見、この夢をヨセフが解き明かしたことです。でも、給仕役の長と「あなたがそのように幸せになられたときには、どうかわたしのことを思い出してください。」(…14)と約束したのに、その約束は忘れ去られてしまったのです。いえ、最善の時のために、主がヨセフに更に2年の備えをさせたのです。人は上に立つと傲慢になりがちです。ヨセフは忍耐と、謙遜を身に纏ったのです。ついに、王が見た象徴的夢を解き明かす、神の計画の時が来ました。「わたしではありません。神が幸いを告げられる」と主に栄光を帰したヨセフを王は「このように神の霊が宿っている人はほかにあるだろうか」(四一…38)と言い、彼を宮廷の責任者、全国民の上に立てたのです。

証し

主の導き

鈴木 恵



私は両親がクリスチャンなので、生まれた時から横浜浜岡村教会に通っています。

中学校入学の頃から、だんだんと教会に行っているということを友達に言うことが恥ずかしくなり、遊びに誘われると教会学校を休んでいました。一時は全く行かなくなりましたが、クリスチャンホームで育った私は、自分から教会に行っていたわけではないので、神様は信じていても、大きなきつかけもなく、今のままでいいかなと自分から受洗しよう！という強い気持ちはあまりありませんでした。しかし高校一年の時、ビリーグラハム国際大会で導かれ、その年のクリスマスに受洗しました。高校卒業後、音響を学びたく専門学校に入学しました。一年目はテレビ、舞台すべてにかかわるカメラ・照明・音響等総合的に学び、二年目に専門を決めて分かれ、さらに学んでいくというものでした。音響は女性には狭き門なので舞台照明を選択しました。就職を考える時期になり、車の運転も必要と教習所、アルバイトと、とても忙しくしていました。土曜日は必ず深夜二時

までのファミリーレストランでラストの時間帯で入り、自宅に帰るのは早くても夜中三時というような生活をしていました。疲れて礼拝を時々休みようになっていました。後で知ったことですが、その頃は私の事を心配し祈っていたようです。そして母に与えられた聖句がホセア書2章6節 口語訳で「それゆえ、わたしはいばらで彼女の道をふさぎ、かきをたてて、彼女にはその道がわからないようにする」だったそうです。母は私が舞台照明の仕事につくと家はあけるし、夜は遅くなる、それより教会生活から離れるのをとても憂いましたが、夢中になっっている私に、今注意してもとても聞き入れないと思い、与えられた聖句を信じて祈っていたそうです。一方私は講師から就職先を紹介するから履歴書を持ってくるように言われても、なぜか気がすまず、そのまま1月に入りました。教会の成人式に出る為、母と美容院へ行く道すがら私は母に学校からの就職斡旋を断りたい、そうすると勉強した関係の仕事につけないので、全く違う仕事を探そうってしまおう事を話しました。処が母は「そんな事より、私が神様から離れないほうが嬉しい、お父さんも喜ぶ」と言ってく

れました。そして仕事の件は又祈るから、心配しなくていいと励ましてくれました。その後キリスト教関係の会社に入社することが出来ました。仕事は福音歌手の方に音響スタッフとしてつき、一緒に教会を回ったり、各聖会での録音で、私の望んでいた音響の仕事で、又時には照明の仕事もありました。岡村教会には出席できなくとも、他の教会で必ず礼拝を守ることが出来ました。もし学校の紹介で就職していたら、そのときの私では神様から離れていたに違いありません。

振り返ってみると、何度か教会から足が遠のいていた時期があります。ともすると教会生活から離れてしまうかもしれない私に、このように現在も教会生活を送れています。私の周りには、必ずクリスチャンの方がいてくれたおかげだと思っています。すべて神様のご計画、お導きのうちにあり、兄弟姉妹の祈りに支えられて今があることに感謝します。今はこどももJ.Cに通っています。神様が必ず息子を導いてくださると信じています。また主人はクリスチャンではありませんが、教会には快く送り出してくれています。今はその事に感謝し、主人がいつか救われるその「時」を信じ、祈り続けていきたいと思っています。

証し

救い

関原 孝子



幼い頃「広地」に住んでいた私は、近くの家で開かれていた日曜学校に、姉と通

っていました。お話しの内容は覚えてなく玄関に下駄と靴が、所狭しとある光景だけが、鮮明に記憶にあります。八幡橋幼稚園に三年通った後、父の転勤に伴い、磯子小学校一年の一学期に始まり、神奈川県内五校の小学校に転校しました。中学校で横浜に戻り、小中高一貫のカトリック系ミッションスクールで学びました。我家で最初に救われたのは、幼い頃、死んだ金魚を埋めながら、「わたしも死ぬの」と大泣きした妹です。

横浜岡村教会に伺ったのは、六十代の母が、網膜色素変性症という難病で、視野がだんだん狭くなり、視力がなくなり始めた頃でした。「讚美歌が唄いたくなくなった」と言うのです。車椅子を押して、礼拝に出席しました。音楽が好きな母で、小さい頃、隣のお姉さんから教わったと言う「山路越えて」や「さまよう人々」を唄っていました。一年後母は、野澤牧

師より洗礼を受けました。その時「娘さん達もどうですか」とお誘いを受けましたが、傲慢にも「けっこうです」とお断りしました。それから我家で、月一回の家庭集会が始まりました。初め聖書の学びに興味がなかった父も、年ごとに、学びからの参加が多くなって来ました。父は七年後、皆様の前で悔い改めを言い、退院出来た折には洗礼を受けると、手術に臨みました。退院は適いませんでしたが安藤牧師に病床洗礼を授けて頂き、一九九五年十二月二十四日召天しました。牧師には、夜中の病院からの急変の連絡にも駆け付けて頂き、又、長い間、多くの兄弟姉妹方がお祈り下さった事、感謝致して居ります。

私の心の中には「神様はおられる。それもキリスト教の神しか考えられない」という思いがありました。主の祈りの「我等に罪を犯す者を我等が赦すごとく」の箇所につまづき、告白出来ずにいました。傲慢にもいつか赦せるようになったら、受けようと思っていました。父が召され、世の様々な手続きに、毎日胃の痛む時、夢を見ました。「関原さん、お父さんが早く帰って来なさいって」という声に目

が覚め、聖霊様が呼んで下さっていると感じました。次の礼拝で「イエスは汝を呼び給う」を讚美した時は、涙が止まりませんでした。次の年のクリスマスに、三人の姉妹方と姉と五人で、安藤牧師より洗礼を受けました。大変な事もあった介護の日々でしたが、六年后、家で母を看取る事が出来ました。古い自分に死に、救いにあずかりながら、幼く弱い信仰で、静まっていた傲慢な気持ちが現れ出て来、又消えの繰り返しです。そのような様な、揺れ動く、枯れそうな信仰の者でも、静まり、御言葉に聴き、ぶどうの木につながっていたので、主は十九年間を、守り導いて下さったと感謝しています。「わたしはあなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災の計画ではない、将来と希望を与えるものである。」(エレミヤ二九・11)あの時の落ち込み、悩みは、この事の為にあったのだと、この頃思う事があります。神が私達を愛し、家族一人一人に成して下さった、救いの恵みを主に感謝致して居ります。



あいさん 愛餐は天国の交わり

今給黎 美代子

横浜岡村教会に安藤脩牧師が着任されて間もなく、信徒相互の交わりによって、教会への絆をより深くしましょうと、聖日礼拝後の昼食愛餐会が始まって、20年余りになりました。

第1聖日は、昼食愛餐会に代わって、わかえだ会の方々による手作りスイーツとお茶の楽しいひと時があります。第2、第3聖日には、役員会報告や祈り、御言葉の恵みを分かち合いながら、愛餐を共にいたします。第4聖日は、礼拝後、各会の定例会と、愛餐による、交わりとなっています。この他、諸行事の「食事作り、後方付け」も、マリア会の有志の方々が、進んで協力し合って、ご奉仕をしています。

イエスさまは、弟子たちや、徴税人レビの家や、大勢の人々と共に、愛餐をなさいました。イエスさまに倣う私たちも、天国の前祝いの愛餐に与かれましますとを、感謝いたします。



第1聖日

スイーツ販売 平野耕太郎

私たちわかえだ会では、活動資金をつくるという趣旨をご理解いただきながら、毎月第一日曜日の礼拝後に、スイーツ販売を行っております。年間の提供計画を、その年度の初めのわかえだ会で考え、前月になって具体的に、どんな材料を使って作るか等を検討しています。出来るだけ作りたてのものを提供出来るように、作業は土曜日の夜か、日曜日の朝早く行っています。行事が輻輳したり、作る人員が確保できなかったりして、お休みする事もあります。これまでパンケーキをはじめ、お汁粉、スイートポテト、スノーボールクッキー、水ようかん、カップケーキ、チョコチップクッキー、梅ゼリー、白玉、フルーツポンチなどを提供してきました。これからもわかえだ会では、皆さんに喜ばれるお菓子を作りたいと考えています。リクエストがありますいたら、ぜひお知らせください。

第2聖日

炊き込みご飯愛餐 井上鈴枝

毎月第2聖日の愛餐会の食事は、炊き込みご飯とお味噌汁、それと季節のフルーツです。食事の支度は朝九時半頃から、ご奉仕の人達が分担し、全ての準備を行います。手際よく井ぶりやお椀、お箸、湯呑茶碗などを人数分揃えて置きます。それから炊飯器にお米と水、炊き込みの素、それにキノコと油揚げを加えて、炊き上がる時間をタイマーでセットし、お味噌汁は長ネギと油揚げの具を入れて作り、そして愛餐会に備えます。

愛餐会の司会は役員の担当で、食事が終わりますと役員会報告、会計報告、会堂維持会計報告が行われます。第2聖日の愛餐会では、毎月決める祈禱課題の三つを、司会者に指名された方々がお祈りを捧げます。信徒にとっては、とても重要な教会の働きを知る時です。最後に全員で、感謝の祈りを捧げ、愛餐会を終わります。



白玉だんご



スイーツを作っています。



炊き込みご飯



バナナが残った時は安藤師がバナナブレッドを作ってくれます。美味！！

第3聖日

恵みの分かち合い

坂本 浩

この週は教育部が担当で、礼拝メッセージより、各自が受けた恵みを分かち合う時を持っています。

また、通常の愛餐会では、同じメンバーがテーブルに集まってしまいう傾向があるため、普段あまり一緒ににならない方との幅広い交わりができるようにと、くじ引きで席を決めています。

そしてテーブル毎に座長（主に教会役員）が進行していました。が、雑談で終わってしまうこともあったので、今年度からは司会者を立て、安藤牧師が毎週配布している前週の説教要約から、概ね1ヶ月間のものを読み返し、得た恵みを発表するという形で行うことにしました。

雑談もOKの楽しい交わりと、たくさんの恵みが分かち合えますように。

「信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。」

(コリント書十三・13)



くじを引きます

第4聖日

各会の集まり

マリア会

安藤善枝



マリア会は毎回20名程で定例会を持っていきます。誕生会や諸報告、祈り会で時間が長くなり、他の会の方々の食事が遅くなりがちです。この日は各自自由に食事をする、楽しいおしゃべりの時間です。

カレブの会 関口猛



第4聖日は、各会の定例会後に全員が交わりの時を持ちます。この日は自由愛餐の時であり形にとらわれず証、恵み感謝、心に思う事などを語る準備をアリガトウ。いつも遅刻でスママセン。



楽しいな
カレーライス

わかえだ会 森田智美



第4週の愛餐は、わかえだ会のみで摂ることが多いです。普段の愛餐会では、教会に集まる様々な世代の方とお話できる良い時ですが、各会での愛餐は、同世代の皆さんと近況や趣味の話などで盛り上がる楽しい時間です。

毎週

イブニング・チャペル

安藤 善枝

毎週夕方5時よりイブニング・チャペルが開かれ、今は大体7〜8名の方が来られています。礼拝の後は6時から食事となります。特に第一週の夕食は3色ご飯です。どんぶりご飯の上にひき肉そぼろ、炒り卵、ほうれん草のみじん切りを乗せ、真ん中に紅シヨウガをおいたカラフルなご飯。みんな美味しいと大評判（？）この食費は牧師が作ってくれる梅酢や梅ジャムの売上金。又献品の野菜の販売売上金で賄っています。この時は食事をしながらゆつくりと話しが出来るので、大切な交わりの時となっています。その後は又、みんなでの楽しい片付けの時。午前の礼拝に出られなかった方は、ぜひ夕方のイブニング・チャペルに来て下さい。



梅ジャム 美味！



3色ご飯

「こころの友全国大会」に参加して

小田 正子

8月24日から26日まで修善寺の天城山荘で行われた「こころの友伝道全国大会」に初めて参加しました。山荘は雄大な土地の中に在り、芝生と緑に囲まれ、素晴らしい所でした。

1日目は安藤牧師の開会礼拝メッセージから始まりました。2日目は、朝6時半からの早天祈祷会に始まり、分団に別れての話し合いがありました。私は「高齢者と心の友伝道」に参加しました。教会に足を運んでもらうためには、岡村教会では送迎を行っていますが、そうではない所は、牧師と教会員とで家庭訪問をし、一緒にお祈りをしたり、聖餐式をしたり色々工夫をされていました。

3日目はいよいよ今給黎姉の証しの時です。姉妹はゆつくりと、ご本人、御主人、息子夫婦、お孫さんと一家揃って信仰を受け継いで来られた様子を証して下さいました。又、色々な牧師方の個性豊かなメッセージを聞く事が出来て、感謝でした。



第2回防災訓練に参加して

関口 勢津子

9月20日の敬老祝会后、防災訓練が親子消防署の方二名のご指導で行われました。AEDの使い方の説明をされ、更に装着の仕方と心臓マッサージのやり方を指導していただきました。お人形相手に実際に交代でやってみましたところ、結構力はいるし、持続しなければならぬ事で難しいものだなと思えました。皆さん真剣に取り組まれて、あつという間の一時間でした。現実にこれを使用しなければならぬことに遭遇したら、練習通り冷静に出来るかと思わされましたが、一度でも練習したという経験はきつと生かされる事と思います。「備えあれば憂いなし」という諺がありますが、災害が起きた時どうするかという手順を、日ごろから自分なりにシミュレーションをしておく必要があるし、家族とも具体的に話し合っ、何時なにが起きててもあわてずに行動できる準備をしておきたいと思えました。



AEDを使って
子供も訓練

「こども祝福式」に参加して

田村 佳恵

11月の第2日曜日、こども祝福式に参加させていただきました。二人の娘と共に礼拝をまもり、約20名ほどの幼稚園生から、小学生のこども達と共に祝福を受けることができました。

幼稚園生、低学年のこども達にはまだ、安藤先生のお話は難しいかな？？と思いつながら、礼拝の中で一人一人こども達にお言葉をいただき、お祈りしていただいたことで、神様に守られて成長していることを少しでも感じてくれたら、と思っています。

私達がいつしか忘れてしまった心を、こども達の自然で素直な姿から、もう一度考え直し、その上で私達大人や親としての責任を見つめ直すきっかけになりました。大切なこども達の心も身体も、健やかに成長していることに感謝し、またこれからも神様の愛を身近に感じつつ、小さな祈りが届くことを願っています。



前に出て祝福を受けた



第10回 岡村バザー

チャリティーバザー

井上 義勝

11月7日(土)第10回 横浜岡村教会バザーが開催されました。天候にも恵まれ大勢の方にご来場

いただきました。

1回目のバザー委員会は8月23日(日)に開かれ、代表委員の中から役割分担を決め、それにバザーテーマ、開催日時、収益予算、各部門責任者・担当者、準備日程、各売り場担当者等を決め、開催に向けて準備の体制を整えました。

9月に入り、礼拝や愛餐会で皆様にご協力をお願いしていました雑貨が、献品されてきました。手作り品の製作も行われているようでした。又、個人の方からバザーの指定献金が寄せられました。

そして、2回目のバザー委員会と10月25日(日)のバザー全体説明会も終わり、準備も順調に進んで行きました。

最終の準備は、開催2日前の11月5日(木)に、食べ物部門の食料品の買い出し、翌6日(金)は、仕込みや商品の値付けを行い開催に備えました。

開催当日は天候も良く、朝の準備も順調に進み開始時間を待ちました。今年は

例年になくお客様の出だしが遅れているようでした。それでもお昼近くなると場内はいっぱいになりました。

駐車場にはレインボータラント舎、子どもコーナー、手作り品コーナー、わた菓子・ポップコーンコーナー、焼きそばコーナーが出店。多くの人で賑わいを見せていました。

1階のフードコーナーではおでん、カレー、お汁粉、炊き込みご飯、パウンドケーキ、コロケパン、コーヒーとケーキ等を販売。皆様各コーナーの色々な食べ物をお楽しみいただきました。他に梅干しも販売しました。

2階の雑貨コーナーにも多くの方が来られ、お買い上げいただきました。礼拝堂の絵画展も、墨彩画の生徒さんや一般の方も来られ鑑賞されていました。

こうして盛況のうちにバザーは終了しました。目標にしている収益予算も達成。収益金は海外の里子支援と障害者地域作業所の支援。それと横浜岡村教会の防災機器の購入資金に充てます。

この収益により社会貢献できますことは、ご来場していただきました皆様、ご支援ご協力の賜物です。



華のしらべ (安藤華舟絵・字)



2016年のカレンダー「華のしらべ」が発売されました。1部800円です。注文は安藤まで。クリスマスプレゼントなどにどうぞ。

安藤華舟個展が、10月27日(火)から11月1日(日)まで中区のみつい画廊で開かれました。天候にも恵まれ、連日沢山の方々がおいで下さり、祝福の時を持つ事が出来ました。感謝！ (安藤)

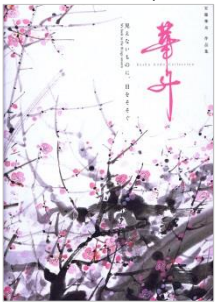


2階 1階



ありがとうございました

今回画集も発行する事が出来、20周年の記念となりました。



12～2月 行事予定

12月

- 4日 小田宅家庭集会
 6日、13日 アドベント讃美礼拝
 9日 三教会統一課題祈祷会
 20日 クリスマス礼拝・祝会
 22日 横浜ろばの店クリスマス会
 24日 ヤングクリスマス会
 24日 イヴ・キャンドル・サービス
 キャロリング
 25日 クリスマス

1月

- 1日 元旦礼拝
 8日 小田宅家庭集会
 18日～19日 マケドニア会 (熱海)
 31日 三教会子ども交流会 (横浜菊名)

2月

- 5日 三教会婦人交流会 (横浜菊名)
 9日 三教会交流委員会 (横浜菊名)
 10日 レントに入る
 14日 ギデオン協会ラリー (証し・)
 19日 小田宅家庭集会
 21日 三教会交流講演交換 (片平師)
 23日～25日 ケズイック・コンベンション
 (毎月第1主日 聖餐式、役員会)
 (毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓

(ジュニアチャーチ)

「子供と共に」
 今、小学4年の孫のSちゃん。10月の連休、久しぶりに一家で我が家に来てくれました。出張先より帰省中の長男も加わり、共に皆で食事が出来ました。御馳走(?)も並び、勇気を出して食前の祈りをします。「ばあばお祈りは？」と言っていたSちゃんが「エーッ」と言いました。学校で「いじめ」にあい、孤立しているようです。本当に、主人と二人、心が痛みます。クリスマスには、神様の平安と恵みと愛が、すべての人々の上に降り注がれます様に。
 T・M

バザー写真集



集会案内

- ◎クリスマス礼拝 12月20日(日)
 AM10:30～正午 午後愛餐会
 「平和を祈るクリスマス」
 ◎イブ礼拝 12月24日(木)
 PM 7:00～8:15

子ども達も加わってのページェントがあります。
 ぜひおいで下さい。

編集後記

酷暑の夏もあつと言う間に過ぎ去り、収穫の秋、実りの秋となりました。特別伝道集会の証し、寄稿された姉妹達に感謝致します。証しは生きた信仰。皆様に期待し待ち望みます。新来会者の一人一人が横浜岡村教会に繋がる事を祈ります。アドベントの時を歩んでいきます。クリスマスはすべての人々と、喜び、祝い、感謝して迎えます。(T・M)

